



志中だより

南三陸町立志津川中学校 No.2

令和4年4月1日

【校訓】
進取 誠実 協力

転入教職員の披露式



新年度は1時間目に新しく転入した教職員の披露式で幕を開けました。昨年度末、離任式において11名の教職員を見送り、少し寂しい気持ちとなっていましたが、生徒たちはそれぞれの教職員からの一言ずつ挨拶を、真剣に、そして、集中して聞いている様子が見られました。



次に生徒を代表し、生徒会長の高橋 長宇さんが歓迎の言葉を転入職員に伝えました。今回、派遣されて来る職員も加えて8名の教職員を披露しました。

生徒たちの様子から転入職員に対して志津川中学校に新たな息吹をもたらす期待を抱いたことが伝わってきました。

ともに歩まん 「志中 as No.1」の道を

披露式の後、すぐに始業式を実施しました。式では校長より教育哲学者 森 信三 氏の「時を守り、場を清め、礼を正す」の言葉を基に、志中生として凡事徹底すべきことについての話がありました。また、常に「自己ベスト」を目指し、それぞれが「志中 as No.1」の気概を持ち続けることの大切さについて語りました。

生徒代表の第1学期の抱負では、2年生の西條 花菜さんと3年生の須藤 万智さんが発表を行いました。



2年生の西條 花菜さんは「生徒会の副会長として、3年生を支えていけるよう自分から積極的に行動していくことと、たくさんの人に元気と笑顔を与えられるようにしたい」と力強く訴えるように発表しました。

3年生の須藤 万智さんは「昨年度のメンバーで活動したことが幸せであり、たくさん挑戦できたので、学校行事、部活で先輩を引っ張っていき、受験勉強でこれ以上ないくらい本気で勉強したい」と強い決意がにじみ出るように発表していました。

志中生159名での出航

4月8日の13時30分より入学式を行いました。前年度は学校事情により一日入学を実施しなかったため、新入生の集合時間を前倒して所作指導等をしてからの入学式開始となりました。

入学生呼名ではそれぞれが、はっきりとした声で返事をして立ち上がり、対面しているご家族の皆さんに堂々とした姿を見せていました。

歓迎の言葉として生徒会長の高橋 長宇さんの名前が呼ばれると、お手本となるようなはっきりとした返事をして前に進み、在校生一同が歓迎しているという思いを優しく語りかけるように発表しました。

また、入学生の代表として千葉 萌々夏さんが誓いの言葉を述べました。決意を持ってしっかりと取り組んでいこうとする気持ちが伝わるようなしっかりとした発表でした。

159名の志津川中学校、保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

